

火打山～焼山 山行記

2011.10.16～17 単独行

火打山は百名山挑戦中の1993.10.5～6に燕温泉～高谷池ヒュッテ（泊）～火打山～妙高山～燕温泉と歩きました。初日は雨。翌日は富士山、北アルプスも見える快晴。火打山山頂では初めて山頂から海が見えたこと、焼山の噴火が雪に見えた事。妙高山からは建設中の長野オリンピック用の白馬のジャンプ台や有明山が見えた事が記憶に焼きついていました。その2つの山にこの半月で又登山できた事が不思議です。焼山は1987年以降、噴火のために登山禁止になり、2006.12/4に規制が解除されました。いつか登りたい山の一つでした。一昨年にN氏と高谷池ヒュッテ泊で火打～焼山～金山～天狗原山を計画しましたが天候悪くて中止。N氏は昨年8月に単独で踏破しました。（私は仕事でダメ）彼は下山する金山の登山口に車を置き、登山口の笹ヶ峰まで、5時間以上林道を歩くと言う根性でした。（2人なら2台でこんな時は楽だが）。内心同行者が欲しかったのですが（下山の真川ルートが薄気味悪く）、単独挑戦しました。天候が心配でしたが、良いほうへ変わってくれて決行しました。

10/16（日） 6:50～9:24 笹ヶ峰登山口（ザックを置き）～下山口の杉野沢橋（1263M）に車を置き 9:35～10:20 笹ヶ峰（1330M） 10:30～11:25 黒澤（1580M） 11:35～13:15 富士見平（2060M） 13:20～14:10 高谷池ヒュッテ（2105M 泊） 宿泊者 16名。

急速に天候回復に向かい朝から晴れ。ラッキー！。ブログでお知らせしたとおり、小谷～妙高林道の紅葉は真っ最中で綺麗。時々車を止めて眺める。9月にイワナ釣りに来たので懐かしい。金山登山口には3台の駐車。林道にはきのこ採りの車も。来月私も来ようかな。ナメコがありそう。杉野沢橋に車を置き、45分の林道歩き。矢張り折りたたみ自転車を持参すれば良かったと反省。笹ヶ峰の駐車場は広くて立派。木道歩きが続く。登山道は広葉樹林帯で紅葉が最盛期で綺麗だ。

登山道入り口。最初から木道が続きます



紅葉の登山道が続きます



黒沢の紅葉です



十二曲がりの紅葉



十二曲がりまでそんな気持ちの良い登山道を歩く。温度も上がり、Tシャツでも汗ばむ。この時期の登山としては快適な暖かさだ。十二曲がりを超えるとブナ、ミズナラなどからオオシラビソなどの針葉樹林帯になってしまう。熊笹も多い。途中でヒュッテで働いていた人に2回会った。宿泊者が少なくなったので帰宅するのだろう。一人はスノーボードを背負っていた。一人はきつとテレマーカーだろう。富士見平を過ぎると焼山が最初に顔を見せた。続いて影火打～火打山も。明日歩く山並みが全て見える。

明日登る、火打山～焼山



焼山の登りは大変そうだ。懐かしい高谷池ヒュッテも見える。高谷池ヒュッテは10/9までの週末はほとんど満室だった。10/15も残り僅かだったが天気予報が悪くなり、昨日は20名ほどだったようだ。今日は16名のようだ。営業は11/3まで。このヒュッテのような「完全予約、定員制」に私は賛成です。登山にはある程度計画性が必要なのと、「来る者は拒まず」も一理ありそうだが、布団一つに2～3人寝る事は異常事態と思う。秋の涸沢のように、トイレ待ち30～40分などいわゆる「オーバーユース」現象は必ず自然に負荷を与える筈だ。

それとストックの先端の保護カバー（ゴムキャップ）についての意見ですが、これも賛成です。北海道、此処も装着を前提にしています。ここの例ですが、登山道の整備に袋に石を詰めて使用していますが、ストックの先で突かれて袋が穴あきになってしまい、石が露出してしまった袋が散見されました。ただ問題は泥地に突くとゴムキャップが取れてしまう事です。すぐ気がついても探し出すのが難しい事があります。北海道の山行では予備のゴムキャップを5個持って行きましたが、ほとんど紛失してしまいました。今回も気がついたら無くなっていたので、持参した予備を装着しました。私が言いたいのはゴムキャップが「取れない」ストックを製造して欲しいのです。そんなに難しい事ではないと思いますが。

早く小屋に着いたので、早速飲み始めました。缶ビールのあとは日本酒。地元妙高市の君の井酒造の「越のさかふね」が500円で売っていた。アルミ缶に入った、度数19～20度の酒です。2本飲みました。

コクがイマイチの感じですが。こんな酒を山小屋で売っているのは二重丸と思いました。夕食はレトルト食品と思われる、ハヤシとカレーライスでしたが、美味しかったです。同席させてもらった品の良い女性とお話させてもらいました。何と白馬村神城（白馬五竜とおみスキー場入り口）のペンション「リスの小屋」のオーナーさんでした。（帰宅後HPを見させてもらいましたが、HP自体が綺麗で創意性がありました。自然食料理がご自慢のようです。スキー、登山・自然散策基地として最適と思います）。

さらに持参した菊水「ふなぐち一番しぼり」を飲んで布団に入ったら「人工内耳を装着」したまま早々と寝込んでしまいました。お陰で？23:00 過ぎに雑音で目が覚めてしまいました。空いているので布団は一つおきに使うように配慮がされていた。当たり前のようにだが、こんな配慮もできない山小屋が結構ある。ここの、食事のセルフや飲んだ缶ビールの持ち帰りなども理解できる。

10/17 (月) 5:50~7:30 火打山 (日本百名山、2462M) 7:35~8:40 胴抜切戸 8:50~10:00 焼山 (2400M 日本 300 名山、新潟県唯一の火山) 10:10~11:10 泊岩 11:15~11:35 富士見峠 11:45~12:45 水場 13:00~13:55 焼見台 14:00~15:15 ヘツリ~15:35 杉野沢橋 15:45~ (入浴) 18:40 自宅 総走行 164KM。往復共 小谷温泉経由。

高谷池ヒュッテ



早朝の高谷池、火打山、影火打、焼山



朝食が 6:00 からなので、早立ちしたいし、5:00 から使用できる自炊室で朝食を食べて一番に出発。ここの自炊室はガスコンロ、釜、鍋、ヤカン、食器など完備してあり、全て無料。これも 2 重丸。高谷池ヒュッテのHPを見ると、利用者からのクレームが掲載されています。やれサービスが悪い、食事がまずい、設備が悪いなどと。まったく的外れなクレームと私は思いますが。ちなみにここのHPは利用する側から見るととても分かり易く、丁寧に書かれています。GOODです。

高谷池ヒュッテと火打山



木道の多い登山道で火打山頂へ。先日登った妙高山の横には富士山も見える。日本海はハッキリしない。前方にはこれから歩く影火打~焼山方面。登山道整備がされていて道は平均的に 30CM位と細いが歩き易い道が続く。感謝です。おかげでペースも快適。まだ残雪も少しある。よほど積雪量が多いのだろう。胴抜キレット付近を上から見下ろした時は {あんなヤセ尾根を歩くの?} と緊張した。風も吹いているし。日本海側に落ちれば完璧にアウトだ。

一番乗りの火打山頂。日本海方面



火打山頂から焼山方面を望む



でも実際に歩いてみると危険性は無い。焼山への登りもそれほど苦にならずに山頂へ。ただ山頂手前から噴火のガスを吸いながらで嫌だった。登り坂で思い切り呼吸するので。念願の山頂からの展望は素晴らしい。

洞抜切戸～焼山を望む



信越の山々が全て見える。金山・雨飾・海谷山塊・鋒ヶ岳・戸隠・黒姫・高妻・飯綱山等々、それらの登山を思い出す。昔の噴火口を覗くとカルデラ湖までである。少し風があるし、ガスが心配で少し下った所で早昼とする。泊岩への途中で何と雷鳥がいる。ハイマツがほとんど無い場所なのだが。泊岩の戸は何故か開かない。これでは緊急用としては用をなさない。中を覗くと発砲スチロールをひいてあるが。

「富士見峠から裏金山～金山方面を望む」



笹倉温泉への分岐を過ぎて富士見峠に。裏金山～金山へのルートも整備されている。かつてはヤブ道だったようだが。真川ルートを下る。ここも細いが要所にペンキ、桃色テープがあり、落ち葉で隠れても道は分る。水場の先までは快適だった。紅葉が綺麗になるのだが、渡渉のたびに道が沢から離れて高巻きをする。高度差のある、足場の悪い所を何度も通過する。ロープも所所張ってあるが。いかんせん足場が狭くて滑りやすい。{へツリ}の先まで少し緊張した。これは最後にきて{想定外}だった。おまけに何故かこの区間はペンキ・桃色テープが少ない。一番必要な箇所だが。

焼山への登りで歩いてきたキレットを振り返る
右から妙高山、影火打、火打山



山頂直下のカルデラ湖



一人ボッチの焼山山頂



焼見台付近から焼山を振り返る。



ヘツリを過ぎれば杉野沢橋までは近い。きのこを探しながら（カタハ〜ムキタケ・ブナハリタケがあった）1時間以上予定より早く杉野沢橋到着。今日は予想どおり、途中誰にも会いませんでした。帰路も小谷村経由で紅葉見ながら。回数券のあるユープル木崎湖で入浴し帰宅。予想以上に天気が回復して天候・紅葉・小屋・展望・ルートに恵まれて満足な山行でした。